

介護人材実態調査（事業者さま用）

令和5年1月1日現在の状況について、ご回答ください。

問1 該当するサービス種別（介護予防を含む）を、ご回答ください。

※ 本調査票の送付先（郵便の宛名となっている事業所）で行うサービスについて、ご回答ください。（1つに○）

1. 訪問系サービス（訪問介護、訪問入浴、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、夜間対応型訪問介護、訪問型サービス（総合事業）訪問看護、訪問リハ）
2. 小規模多機能型居宅介護
3. 看護小規模多機能型居宅介護
4. 施設・居住系サービス（特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護医療院、短期入所生活介護・療養介護、グループホーム、特定施設、住宅型有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、軽費老人ホーム）
5. 通所系サービス（通所介護（地域密着型含む）、通所リハ、認知症対応型通所介護、通所型サービス（総合事業））
6. 居宅介護支援

問2 貴事業所（問1で○をつけたサービス種別の事業所）に所属する従業員（事務職除く）について、お伺いします。

※ ここでの「従業員（事務職除く）」は、賃金の支払いを受けている方に限ります。（ボランティアの方は含みません。） また、「正規職員」とは、期限の定めのない雇用契約による者、「非正規職員」とは期限の定めのある有期雇用契約による者を指します。

問2-1 従業員（事務職除く）の総数を、ご記入ください。（数値を記入）

正規職員	〔 〕 人	非正規職員	〔 〕 人
------	-------	-------	-------

問2-2 貴事業所の開設時期について、ご記入ください。（数値を記入）

開設時期	西暦 〔 〕 年 〔 〕 月
------	----------------

問2-3 令和5年1月1日時点で、開設から1年以上を経過している事業所にお伺いします。

過去1年間（令和4年1月1日～令和4年12月31日）の従業員（事務職除く）の採用者数と離職者数を、ご記入ください。

採用者数	〔 〕 人	離職者数	〔 〕 人
------	-------	------	-------

問2-4 問2-3の採用者・離職者について、正規・非正規の別・年齢別をご記入ください。(数値を記入)

年齢 (採用、離職当時)	採用者数		離職者数	
	正規職員	非正規職員	正規職員	非正規職員
20歳未満	〔 〕 人	〔 〕 人	〔 〕 人	〔 〕 人
20～29歳	〔 〕 人	〔 〕 人	〔 〕 人	〔 〕 人
30～39歳	〔 〕 人	〔 〕 人	〔 〕 人	〔 〕 人
40～49歳	〔 〕 人	〔 〕 人	〔 〕 人	〔 〕 人
50～59歳	〔 〕 人	〔 〕 人	〔 〕 人	〔 〕 人
60～69歳	〔 〕 人	〔 〕 人	〔 〕 人	〔 〕 人
70～79歳	〔 〕 人	〔 〕 人	〔 〕 人	〔 〕 人
年齢不明	〔 〕 人	〔 〕 人	〔 〕 人	〔 〕 人
計	〔 〕 人	〔 〕 人	〔 〕 人	〔 〕 人

問3 国が示す介護従事者の配置基準は現場の実態と合っていると思いますか。(それぞれ1つに○)

	実態に合っている	実態と合っていない		当該職種 はいない
		不足	過剰	
1. 訪問介護員				
2. サービス提供責任者				
3. 介護職員				
4. 看護職員				
5. 生活相談員				
6. 介護支援専門員				
7. 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・機能訓練士				
8. 全体で見た場合				

問4 介護人材の早期離職の防止や定着促進について、お伺いします。

問4-1 貴事業所では介護人材の早期離職の防止や定着促進を図るためにどのような方策に取り組んでいますか。(あてはまる主なもの3つまでに○)

1. 残業を少なくする、有給休暇を取りやすくする等の労働条件の改善に取り組んでいる
2. 本人の希望に応じた勤務体制にする等の労働条件の改善に取り組んでいる

3. 賃金水準を上げる
4. 能力や仕事を評価し、処遇に反映している
5. キャリアに応じた給与体系を整備している
6. 社内研修、外部研修等の能力開発の機会を充実させている
7. 不満や悩みなどの相談窓口を設けている
8. 職場内のコミュニケーションの円滑化を図っている
9. 経営者側と従業員側とが経営方針等について共有できる機会を設けている
10. 福利厚生を充実させ、職場内の交流を深める取り組みをしている
11. 子育て支援を充実させている
12. 資格取得への支援制度を充実させている
13. 介護ロボットや ICT 等の導入による働きやすい職場づくりに取り組んでいる
14. 特に取り組みはしていない
15. その他（ ）

問4-2 問4-1で○をつけた中で最も効果があると思う方策を一つ選んでその番号を記入してください。

最も効果があると思う方策の番号	
-----------------	--

問4-3 問4-1で○をつけた中であまり効果がないと思う方策を一つ選んでその番号を記入してください。

あまり効果がないと思う方策の番号	
------------------	--

問5 介護人材不足に対し、行政(国、県、市)に望むことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 資格取得等のキャリアアップへの支援
2. 介護業界のイメージアップや就職促進の取組
3. 外国籍労働者の受入れ支援
4. 従業員研修メニューの充実（資質の向上）
5. ロボット等の介護機器の導入支援
6. 求職者と事業所のマッチング支援

9. その他 ()

問6 外国籍労働者の雇用について、お伺いします。

問6-1 貴事業所では外国籍労働者の雇用による人材の確保を検討されていますか。(あてはまるもの1つに○)

5. わからない ⇒問6-3へ

問6-2 外国籍労働者を雇用している（過去に雇用したことがある）事業所の雇用状況について記入してください。

在留資格	人数	国籍
１．ＥＰＡ（経済連携協定）		
２．技能実習（介護職種）		
３．留学生（介護福祉士養成施設）		
４．在留資格（介護）		
５．その他（ ）		

問6-3 問6-1の回答内容・回答有無に関わらず、すべての方にお伺いします。外国籍労働者の受け入れについて、どのように考えていますか。(あてはまるものすべてに○)

1	業務の見直しができる	7	コミュニケーションがとりにくい
2	職場に活気がでる（活気ができると思う）	8	利用者等との意思疎通において不安がある
3	利用者が喜んでいる（喜ぶと思う）	9	できる仕事に限りがある（介護記録、電話等）
4	業務が軽減される	10	事業所のルールが理解できているか不安
5	労働力の確保ができる	11	生活、習慣等の違いに戸惑いがある
6	特に気になることはない	12	技能実習生制度等の手続きが複雑だと思う
		13	その他（ ）

問7 従業員の研修について、お伺いします。

問7-1 貴事業所が実施している従業員への研修・資格取得支援についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 研修の企画・実施のための体制がある
2. 外部機関に研修実施の委託をしている
3. 外部研修への参加費を補助している
4. 研修のすべてを当該事業所内で実施している
5. 特に行っていない
6. その他 ()

問7-2 従業員の社外研修・講習会の受講にあたって、課題となっていることは何ですか。(あてはまる主なもの3つまで○)

1. 人材不足で参加させることが難しい
2. 経営上、参加費・受講料の負担が難しい
3. 研修・講習会が実施される会場が遠い
4. 従業員が資格を取得してもすぐに反映できない
5. 特に問題はない
6. その他 ()

問7-3 従業員の研修について、必要と思う内容についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 事故防止について
2. 虐待・身体拘束防止について
3. メンタルケアやアンガーマネジメントについて
4. きめ細やかな対応がより必要となる利用者への理解・関わり方について
5. 介護技術のスキルアップについて
6. 災害時の対応、感染症対策及びBCPの作成方法について
7. 新任職員・若手職員の交流を含めた介護従事者としての基礎について
8. 外国籍人材の受入れ体制の整備について
9. 効果的な広報・PRについて
10. 従業員採用・定着に向けた取組みについて
11. 介護ロボット・ICTの導入について
12. 活用可能な助成金・補助金制度について
13. 経営マネジメント手法について
14. 人員基準、加算要件について

15. その他（ ）

問7-4 問7-3で○をつけた中で最も効果があると思う内容を一つ選んでください。

最も効果があると思う研修内容の番号	
-------------------	--

問8 従業員の人材育成について、お伺いします。

問8-1 人材育成のために、どのような取り組みを行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 教育・研修計画を立てている
2. 教育・研修の担当者(担当部署)を配属している又は決めている
3. 採用時の教育・研修を充実させている
4. 従業員に後輩の育成経験を持たせている
5. 能力の向上が認められた者は、配属や処遇に反映している
6. 自治体や業界団体が主催する教育・研修には積極的に参加させるようにしている
7. 資格取得や研修の経費の金銭的な支援を行っている(介護福祉士、実務研修等の受講費用を補助等)
8. 資格取得や研修に対する休暇取得やシフト調整等を行っている
9. 資格取得や研修に関する活動を職務扱い(出張扱い)としている
10. 地域の同業他社と協力、ノウハウを共有して育成に取り組んでいる
11. 特に取り組みはしていない
12. その他（ ）

問8-2 問8-1で○をつけた中で最も効果があると思う取り組みを一つ選んでください。

最も効果があると思う取り組みの番号	
-------------------	--

問8-3 問8-1で○をつけた中であまり効果がないと思う方策を一つ選んでその番号を記入してください。

あまり効果がないと思う取り組みの番号	
--------------------	--

問9 介護ロボットについて、お伺いします。

問9-1 貴事業所では介護ロボットを導入していますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|-------------------------|--------|
| 1. 既に導入している | ⇒問9-2へ |
| 2. 導入を計画している | ⇒問9-2へ |
| 3. 関心はあるが特に導入に向けて動いていない | ⇒問9-3へ |
| 4. 導入は考えていない | ⇒問9-3へ |

問9-2 貴事業所で導入(を計画)している介護ロボットはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

また、従業員の身体的負担軽減や腰痛の予防・緩和に効果(を期待する)があったものは何ですか。

	導入 している	身体的 負担軽減	効果があった内容について 記入してください
1. 移乗介助機器(装着型)			
2. 移乗介助機器(非装着型)			
3. 移動支援機器(屋外型)			
4. 移動支援機器(屋内型)			
5. 排泄支援機器			
6. 入浴支援機器			
7. 見守り支援機器			
8. コミュニケーション・セラピー機器			

問9-3 問9-1の回答内容・回答有無に関わらず、すべての方にお伺いします。

介護ロボットを導入して感じた課題、もしくは介護ロボットを導入していない理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 導入費用が高額
2. 有効性を感じない(期待できない)
3. 利用者の安全面に不安
4. 従業員の安全面に不安
5. 機器に関する情報が少ない
6. 機器のメンテナンスが大変
7. 準備・片付けに時間がかかる
8. 機器の誤作動が不安
9. 機器の操作が難しい
10. 機器を活用した業務改革が必要
11. 研修や使い方の周知が必要

12. 利用者が心理的に抵抗を感じる可能性があるから
13. その他（ ）

問 10 ICTについて、お伺いします。

問 10-1 貴事業所ではICTを利用して業務を行っていますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 既に導入している ⇒問 10-2 へ
2. 導入を計画している ⇒問 10-2 へ
3. 関心はあるが導入に向けて特に動いていない ⇒問 10-4 へ
4. 導入は考えていない ⇒問 10-4 へ

※ICTとは
情報通信技術。利用者情報の一元管理や
モバイル端末等の活用により、業務の
効率化や多職種間の情報連携を図るもの

問 10-2 導入した(導入を計画している)ICTは次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 介護(支援)ソフト・システム
2. 電子カルテ
3. 雇用管理ソフト・システム
4. 事業者間情報共有システム
5. パソコン等による利用者情報の一元管理
6. タブレット端末・モバイル端末
7. テレビ会議システム
8. その他（ ）

問 10-3 ICTを導入してよかったことや効果があったことを教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1. 業務の効率化・時間短縮につながった
2. サービスの質の向上や利用者の満足度向上につながった
3. 利用者情報の共有や従業員間の連携が改善された
4. 多業者間、多職種間で情報共有を図ることができた
5. その他（ ）

問 10-4 問 10-1 の回答内容・回答有無に関わらず、すべての方にお伺いします。

ICTの導入・活用にあたって課題があれば教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1. 経費・費用負担の増加
2. 費用対効果が不明確
3. 従業員の習得・習熟に時間がかかる
4. 事故・トラブル等への対応
5. 維持管理が困難
6. 作業負担の増加

7. インターネット環境の整備が困難
8. ICTの導入・活用によって、そもそも何が解決できるか分からない
9. 特になし
10. その他（ ）

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。